

第12回 技能継承フォーラム

「ものづくり技能継承の現状と展望」

日時：令和2年1月17日(金) 13:00~17:20

会場：理化学研究所 和光事業所 統合支援施設大会議室

産業界では、団塊の世代の大量退職に伴ってものづくり現場からのノウハウ消失が懸念されています。この課題は我が国におけるものづくりの根幹を支える中小企業において特に深刻といえます。本シンポジウムは、理化学研究所と産業技術総合研究所とが2009年3月まで合同で実施して参りました、「中小企業基盤技術継承支援事業」の成果普及の一環として企画致しましたもので、今日の技能・技術継承の動向や課題に対しての位置づけを議論するとともに、かかる技能・技術継承手法の改良・発展へ向けた展望と最近の取り組み事例、そして特に継承が難しい特殊加工や難削材加工の現状と動向について紹介することを目的としています。さらに、2012年度から東京都板橋区と連携して、ものづくり技術継承および産業集積化に向けた新たな研究、支援活動について紹介することで、今後の事業への取り組みへ反映することを狙いとしています。今回のフォーラムでは、生化学・細胞工学とエンジニアリングの融合や、ものづくりへのAI適用の最新動向についての話題を取り上げ、議論を深めることを狙っています。

プログラム (司会・進行：東京都市大学／理化学研究所 亀山 雄高氏)

13:00~13:05 開会の挨拶 理化学研究所 大森 整氏

13:05~13:15 ご来賓あいさつ

第一部：新領域における技能・ノウハウ ～マイクロ流体工学と細胞工学の融合～

13:15~14:15 「微細構造によるマイクロスケール流れと電場制御-1 細胞分析への応用」

理化学研究所 新宅 博文氏

14:15~15:00 「ハイドロゲルのマイクロ加工技術による細胞組織およびバイオセンサの構築」

東京工業大学 倉科 佑太氏

15:00~15:20 休憩

第二部：ものづくり技能継承の最新動向

15:20~16:20 「センシングと熟達者知見の連携によるこれからのものづくり」

株式会社 LIGHTz 堀越 龍彦氏

16:20~17:05 「ものづくりにおけるAI活用の問題点整理と、加工や製造を軸足にしたAI技術活用」

産業技術総合研究所 山下 健一氏

17:05~17:20 総括および閉会の挨拶

産業技術総合研究所 梶野 智史氏

*本シンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています